

平成 21 年度 首都高速道路事業評価監視委員会 議事要旨

日 時：平成 21 年 12 月 3 日（木）13:30～14:45

場 所：首都高速道路株式会社 本社会議室

出 席：委員長 森地 茂（政策研究大学院大学 教授）

委員 田中 里沙（株式会社 宣伝会議 取締役編集室長）

森杉 壽芳（東北大学 特任教授 大学院経済学研究科）

横野 茂樹（社団法人 日本自動車連盟 交通環境部長）

（山内 弘隆（一橋大学大学院商学部研究科 教授）は所用のため欠席）

対 象：高速川崎縦貫線の再評価

議 事：

1. 委員長選出：森地委員を委員長に選出。
2. 運営要領の制定：「首都高速道路事業評価監視委員会運営要領」は原案通り了承。
3. 再評価について：再評価の制度について事務局より説明。
4. 審議：対応方針については原案通り了承。

（主な意見）

- ・ B / C が 1 . 1 となっているのは、この区間の費用に両端の大きなジャンクション（川崎浮島、大師）の事業費が含まれていることも影響していると考えられる。
- ・ B / C が低いので、開通後の利用促進を図り、事業効果の向上に努めるべきである。
- ・ 所要時間の信頼性や環境ロードプライシングの効果については、事業の効果として今後評価した方が良い。
- ・ 当該事業で採用している M M S T 等の高度なトンネル構築技術については、今後、積極的な普及に努めるべきである。